

Rookie選最優秀賞に吉村優里さん

総合資格らが建築学縁祭

総合資格(東京都新宿区、岸隆司社長)らは2〜4日、東京都新宿区の工学院大学で、学生向けの建築設計イベント「建築学縁祭2022」を開いた。4日には、東京・神奈川・千葉・埼玉の1都3県で学ぶ建築学生を対象に「Rookie選」と題した設計課題の公開講評審査会を開催。審査の結果、武蔵野美術大学3年の吉村優里さんの作品が最優秀賞に輝いた。2、3日には建築写真展やシンポジウムなども開いた。

Rookie選は、エントリーされた524作品から事前の1次審査で100作品を選定。4日に建築家の審査員が10作品に絞り込み、公開審査した。最優秀賞に輝いた吉村さんの作品テーマは「日常のうらがわを」。東京都渋谷区の住宅地内に、形状や向きが異なる屋根を上下に重ねた4階建てのカフェバーを構想した。暗い体験をコンセプトに掲げ、洞窟のような箇所や陰影が生まれる箇所を設け、連続する体験で空間を発見していけるような建築を提案した。審査員からは「暗さが形として表れているのが面白い」などの声が上がった。吉村さんは「これで良いの



吉村さん(左)と小堀氏



公開審査会の様子



吉村さんの作品

かと思いつながら向き合ってきたのでうれしい。足りない部分もあった。これから「ハレ、ケ、ケガレ、ハレ」、ポラス賞に小川七実さん(法政大学)の「学び場のらく書き」と、藤原彰大さん(慶応義塾大学)の「Worm Ch air」、メルディア賞に法兼知杏さん(法政大学)の「手漉(てす)き紙に綴(つつ)る」、総合資格学院賞に大池智美さん(芝浦工業大学)の「みせるウチ、つなぐト」が選ばれた。そのほかの受賞者は次の通り。敬称略。

- ▽佳作▽山田遼真(武蔵野美術大学)▽同▽角田翔(法政大学)▽同▽猿山綾花(東海大学)▽同▽杉山美緒(早稲田大学)
- ▽クリティーク賞(大野賞)▽松本溪(早稲田大学)
- ▽同▽吉村賞▽伊藤綾香(日本大学)▽同(富永賞)
- ▽小林大馬(法政大学)▽同(小堀賞)▽大杉早耶、長石巧三、伊藤拓音、佐々木大翔、飯島愛美(青山製図専門学校)▽同(平賀賞)
- ▽徳家世奈(東京電機大学)▽同(持田賞)▽大塚史奈(東京都市大学)。

持田正憲(武蔵野美術大学教授)▽吉村靖孝(早稲田大学教授)の各氏が務めた。優秀賞に奥田真由さん(法政大学)の「学び場のらく書き」と、藤原彰大さん(慶応義塾大学)の「Worm Ch